

## 「底上げ・底支え」「格差是正」へ！ 2016春季生活闘争討論集会を開催

2月3日、大手門パルズにおいて連合山形「2016春季生活闘争討論集会」を開催し、「すべての働く者の処遇改善！」「『底上げ・底支え』『格差是正』で経済の好循環実現！」をめざすとした2016春闘がスタートしました。

冒頭、岡田会長は「日本経済は依然としてデフレから脱却できず、大都市と地方、正規労働者と非正規労働者の格差が拡大している。また、貧困問題などアベノミクスは破たんしている。2016春闘は、働く者の生活向上と、デフレ脱却に向け、月例賃金を引き上げて行く事が重要である。昨年に引き続き前年要求書を提出出来なかった単組や交渉がうまくできなかった単組を重点的に支援の取り組みを行っていく。今春闘で粘り強い交渉を展開し、要求内容を勝ち取り、組合員の結集力・求心力を高め、7月の参議院選で比例代表で産別の組織内・推薦候補者全員と、県選挙区で舟山やすえさんの当選に向け全力で取り組もう」と挨拶。

連合本部労働条件・中小労働対策局の曾原局長より春闘情勢報告を受けた後、連合山形「2016春季生活闘争方針」(案)について、設楽事務局長より提案され、全体で確認されました。集会では、電機連合(井上さん) U Aゼンセン(長谷部さん) 交通労連(中川さん) 情報労連(柏倉さん) 自治労(中村さん)より決意表明がなされ、「闘争開始宣言」が採択されました。



連合本部 曾原局長

## 2016春闘勝利！総決起集会

と き	2016年3月5日(土)
第1部	デモ行進：山形市第二公園 13時集合
第2部	総決起集会：山形市民会館 14時45分開催

## 連合山形と経済経営団体が春闘交渉を前に意見交換

# 山形県労使首脳懇談会

2月1日、本格的にスタートする春季生活闘争交渉を前に、連合山形三役と県内各経済経営団体役員との労使首脳懇談会が山形グランドホテルで開催され、連合山形岡田会長から「2016春季生活闘争交渉に関する要請書」が山形県経営者協会寒河江浩二会長に手交された後、今春闘における意見交換が行われました。

意見交換では、労働者側は、「企業収益を拡大するには、月例賃金改善による個人所得の拡大が重要である。」と主張。デフレから脱却し持続する経済成長を実現するためには、地域経済の縮小と生産年齢人口の減少に歯止めをかけ、好循環を確立することが重要であるとの認識や、地域経済の再生・活性化には至っておらず、業種や企業間で格差が生じているとの状況認識も労使で一致したものの、使用者側は「地方では景気回復の実感に依然として乏しく、業種や企業規模によってバラつきがあるため一律のベア要求には応じにくい」とし、「ベア一辺倒ではなく、定昇や一時金、諸手当など、自社の支払い能力に応じて引き上げ方法を見だし決定する」と主張しました。



意見交換後、「県内労使は、長年積み上げてきた信頼関係の上に立って、今後、こうした意見交換の場をさらに拡充・発展させ、議論を一層充実させていくこととする」などと意見集約しました。

出席者は、連合山形より岡田会長、小口副会長、水戸副会長、角谷副会長、伊藤幹男副会長、森副会長、伊藤学副会長、設楽事務局長が、経済経営団体より山形県経営者協会寒河江浩二会長、山形県商工会議所連合会清野伸昭会長、山形経済同友会熊谷眞一代表幹事、山形県中小企業団体中央会齋藤豊副会長、山形県商工会連合会松田一彦専務理事、山形県経営者協会丹哲人専務理事、山形県経営者協会堀川広訓事務局長。

### 2016春季交渉に関する要請書

日頃から連合山形の活動に対する格別のご理解を賜り、あらためて厚く御礼申し上げます。また、山形県内企業支援・振興に並々ならぬご努力とご尽力されていることに深く敬意を表するところであります。

さて、連合は2016春季生活闘争について、2014春季生活闘争からの基本的な視点を引き継ぎ、日本経済の「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」のためには、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現が不可欠であるとの認識に基づき、特に中小企業で働く労働者の処遇改善に重点的に取り組む考えであります。

超少子高齢化と人口減少による労働力不足が懸念される状況にあって、地域産業の重要な担い手である中小企業の事業の成長・発展のためには、労働者の雇用環境の質的改善が必要であります。

つきましては、2016春季交渉にあたり、下記の点について、特にご配慮いただきますようお願いいたします。

#### 記

1. 「デフレからの脱却」「経済の好循環」の起点となる消費マインドの向上、ならびに中央と地方の所得格差是正、勤労意欲向上となる月例賃金（基本賃金）改善を図っていただきたい。
2. 非正規労働者の雇用安定に向け、正規社員への転換ルールへの導入促進や無期労働契約への転換促進、さらには賃金や処遇改善などの労働条件改善を図っていただきたい。
3. 男女が持てる能力を発揮できる職場を作っていくため、男女平等と男女間の賃金を含む処遇改善を図っていただきたい。
4. 職場における労働安全衛生と健康確保のため、長時間労働を是正し、ワークライフバランスをより推進していただきたい。
5. 健全な経済の発展と好循環に向けて、公正な企業間取引を図っていただきたい。

以上



# 青年委員会「スキー・スノーボード学習交流会」

— 滑って、学んで、楽しい交流! —

連合山形青年委員会は、1月30日（土）～31日（日）、山形市蔵王スキー場（ホテル樹林）を会場に、今年で3回目となる「スキー・スノーボード学習交流会」を開催し、39名の青年女性が集いました。

スキー・スノーボードでは、熟練度別に班に分かれ、参加者から選ばれた「インストラクター」にアドバイスを受けながら、思い思いのシュプールを描いて楽しみました。

その後の学習会では、東北労働金庫の金田調査役より「ライフプラン ～今だから人生設計を考えよう～」と題した講演を頂き、ライフプランとその必要なお金、悪徳商法やローンなどの借金に関わる話、銀行と労働金庫の違い、騙されない資金管理など、有意義な学習となりました。

さらに、6つの班に分かれて分散会を行い、「今春闘で要求する課題」をテーマに、単組・業種の違う参加者同士で職場における問題点を出し合い、どのような職場を望むかなどの意見交換を行いました。

夕食交流会でお酒を酌み交わしながら単組の枠を越えて交流する中で、各班の分散会報告を聞き、労働者が置かれている環境について認識を一致することができました。



## 山形県高退連「2016新春旗開き」を開催

1月21日（木）、大手門パルズにおいて、山形県高齢・退職者連合の「2016新春旗開き」が開催され、会員の他、連合山形岡田会長、設楽事務局長、参議院選挙候補予定者である舟山やすえさんが参加され、元気に開催されました。

はじめに、伊藤寛県高退連会長が、「舟山やすえさんの勝利に向け、県民の力をあげて闘っていかなければならない。我々の力をもっと大きなものにしていこう。」とあいさつ。次いで、連合山形岡田会長は、「春闘では、格差是正に取り組み、賃上げを勝ち取り、参議院選挙では非自民勢力を結集させて舟山さんの勝利を勝ち取っていこう。」と檄を飛ばしました。来賓として参加された舟山やすえさんは、「安倍政権の乱暴な政治、間違った経済運営をただしていかなければ、地方生活の将来はないと思い出馬を決意した。いつも心強く思っている高退連のみなさんに、このたびもご支援お願いします。」と決意表明されました。

乾杯の後の懇親会では、舟山やすえさんを囲みながら、熱い議論がされていました。お互いの健康を喜びながら元気に活動しようと、2016年度のスタートとなりました。



# 春闘の取り組みで職場の処遇改善を!

## — 小雪降る中、街頭宣伝行動を展開 —

1月29日、小雪の舞う中、山形市アズ七日町前において、2016春闘街頭宣伝行動を行い、2016春季生活闘争「連合山形の取り組みアピール」と2月3日（水）～6日（土）に行う「パート・派遣・契約社員、なんでも労働相談ダイヤル」の告知を行いました。

連合山形岡田会長、設楽事務局長、小川副事務局長が、市民に対して「すべての働く者の処遇を改善!『底上げ・底支え』『格差是正』で経済の好循環実現!をめざし、ベースアップの引き上げ、中小で働く労働者の賃金の引き上げ、非正規で働く労働者の現状と処遇改善、格差是正」を実現するための連合山形の取り組みについて訴え、構成組織の皆さんと共に「労働相談ダイヤル（0120-154-052）の実施案内チラシ配布行動」を行いました。

この春闘街宣行動は、地域協議会も含め「春季生活闘争」の期間中継続的に行っていきます。



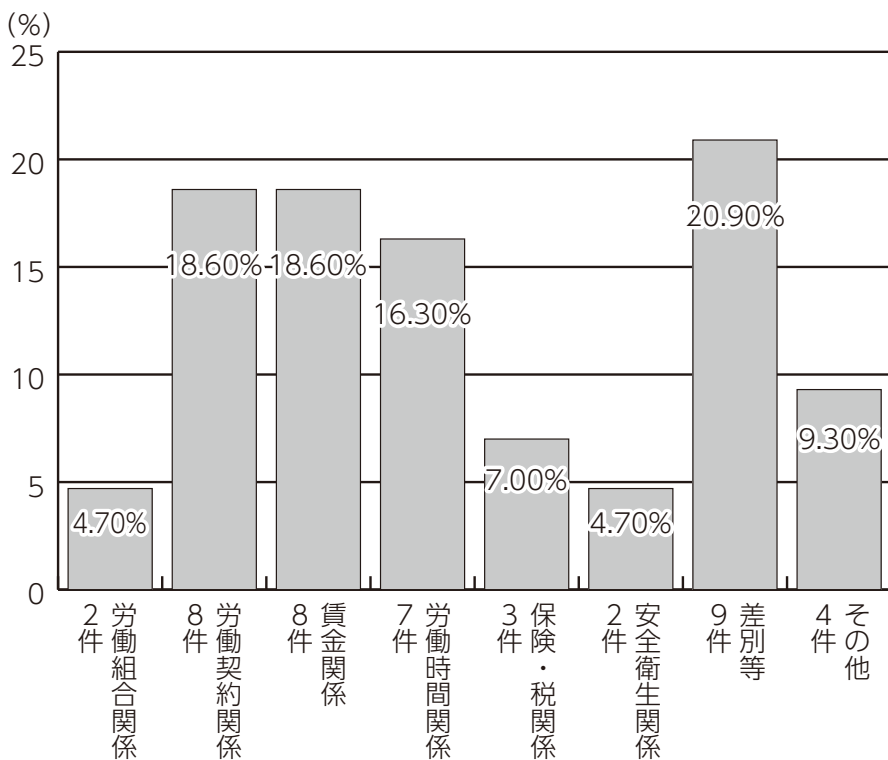
### 2016春闘

## 「パート・派遣・契約社員、なんでも労働相談ダイヤル」

### — 4日で43件の相談が寄せられる —



連合山形は、春闘期の取り組みとして未組織・非正規社員の処遇改善などを目的に、2月3日（水）～6日（土）の4日間、10時から19時において「なんでも労働相談ダイヤル」を行いました。労働相談ダイヤルとしてのフリーダイヤル（0120-154-052）は常設されていますが、4日間を集中相談日として行い、連合山形専従職員とアドバイザーが相談に対応しました。



アドバイザーが相談に対応しました。

4日間の相談件数は43件で、男性24件、女性19件からの相談でした。相談内容は、マタハラやパワハラなどの差別関係が9件と最も多く、次いで労働契約関係と賃金関係が同じく8件でした。業種は医療・福祉関係が7件と最も多く、次いでサービス業の6件。

1年契約のアルバイトで働いていたが、突然、同意しなければクビにするとわれ、時給を下げられたという相談や、毎日のように上司からみんなの前で大声で叱責され、精神的にうつ状態になっているなど、職場における深刻な相談が寄せられています。

ろうきんは働く仲間のライフプランを応援します。

# ふるさと奨学ローン

ご融資金額 最高1,000万円

ご融資期間 最長10年(固定金利)

お使用みち 入学金や授業料、仕送りなど、ご本人やご親族の方の教育費用

## 利息補給制度

「ふるさと奨学ローン」利用のお子さまが、卒業後山形県内に就職または就業したときに、(公財)山形県勤労者育成教育基金協会から年間最大6万円利息補給されます。

※利息補給には一定の要件がございます。詳しくはお近くのろうきん窓口まで。

## 口座開設特典

図書カード500円分&オリジナル通帳ケースプレゼント!



- ◆実施期間/2015年4月1日(水)~2016年3月31日(木)
- ◆対象者/学生の方(ふるさと奨学ローン資金使途対象の方)  
※高校・大学・専門学校等への入学・在学の方を対象とします。
- ◆対象取引/普通預金の口座開設(キャッシュカード発行をセットした口座)
- ◆ご契約プレゼント/学生1名につき図書カード1枚(500円分)とろうきんオリジナル通帳ケース1個を進呈いたします。

※店頭でご希望に合わせたご返済額の試算をいたします。※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。※店頭にて説明書をご用意しております。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

2016年2月1日現在

かなえる、チカラ。支える、チカラ。

東北労働金庫山形県本部

☎ 0120-1919-62

ZENROSAI NEWS

0615S071

## この安心を、 家族の成長とともに。

- 医療タイプ
- 医療安心タイプ
- 終身医療5000
- 総合タイプ
- 総合2倍タイプ
- 大型タイプ
- がん保障プラス
- 生きる安心タイプ
- 傷害安心タイプ
- シニア総合タイプ
- シニア医療タイプ
- シニア傷害安心タイプ
- キッズタイプ
- キッズワイドタイプ
- キッズ満期金付プラン

# こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・預年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら  
**全労済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会



保障のことなら

全労済山形県本部  
(山形県勤労者共済生活協同組合)

〒990-0827 山形市城南町1-18-22  
TEL 023-646-4666(代)